

LIM

# ポインセチア

## ☆12月の風物詩ですね

この時期ニュース等でポインセチアの出荷の便りを耳にすることが多くなります。このニュースを見るとクリスマス、更には年末だなあと感じる方も多いのでは？

このポインセチアはメキシコ・中央アメリカを原産としており、現地では「ノーチェ・ブエナ（聖夜）」と呼ばれ、その赤い葉の色はキリストの血の色にたとえられることも。

これらの伝説が当時のアメリカ合衆国初代メキシコ公使J・R・ポインセットによりアメリカに伝わり、彼の名前が付き広まったとされています。

その後明治時代に日本に伝わりましたが、日本での名前は「猩々木（ショウジョウボク）」。これは大酒のみで赤ら顔の伝説上の動物「猩々」に由来してします。

## ☆クリスマスのイメージですが寒さは大敵！

冬の植物のイメージが強いポインセチアですが、中央アメリカ地域が原産地ということもあり、過度な寒さは厳禁。

気温が氷点下を下回るような場所では葉が落ちてしまいます。

せっかくのクリスマスに葉が無いポインセチアではクリスマスムードが台無しになってしまうのでご注意を！

## ☆必要以上に葉に触れないように

ポインセチアの葉には「フォルボール」という毒素が含まれています。

これは皮膚炎や水泡を引き起こすことがあり、海外では誤食による死亡例が報告されています。

また、発がん促進の作用もあるとされています。

